

## 意向調査の実施について

農業振興基本計画の検討に際し、農業に関わる多様な主体（消費者、生産者、流通・販売事業者等）に対する意向調査を実施します。

意向調査は、地域の状況を詳しく知る住民等の意向を把握することで地域の現状や課題を整理・把握し、栗東市の農業が目指すべき将来像及び施策の方向性等の検討に用いるとともに、今後の施策推進における地域住民・事業者等の参加・協力の可能性などを把握することで、実現性の高い住民参加の方法の検討材料とします。

さらに、これら調査を通じて、地域住民・事業者等に対する、計画の策定やその実現に向けた参加意識を高めて、策定後の施策推進におけるこれら主体の参加を促すための仕掛けづくりとなるものと考えます。

意向調査一覧

区分	調査名	内容等	対象	期間（予定）	備考
1 消費者	栗東市の農業に関する市民アンケート調査	市民の暮らしを取り巻く農業の現状及び意向等を把握する。	16 歳以上の栗東市在住の市民 2,000 名（無作為抽出）	令和 2 年 10 月 8 日（木）発送～ 10 月 30 日（金）投函 締切	郵送
2 生産者	栗東市の農業に関する農業従事者アンケート調査票	市内農業の現状及び課題、今後必要な施策等に関する意向等を把握する。	栗東市内に農地を保有する農業経営者等（世帯主） 約 1,000 名 ※悉皆調査	令和 2 年 10 月 8 日（木）発送～ 10 月 30 日（金）投函 締切	郵送
3 流通・販売・加工事業者等	栗東市の農業に関する事業者ヒアリング調査	事業者からみた市内農業の課題及び施策に関する意向、関係者間の連携可能性等を把握する。	・JA栗東市 ・直売所（道の駅等） ・飲食店、学校給食センター等	令和 2 年 11 月～12 月頃 ※市民・農業従事者アンケート調査結果もふまえて実施予定	対面または調査票配布（郵送、FAX、メール等）
4 次代の担い手	『栗東市の未来の農業を考える』中学生アンケート調査	栗東市の次世代が持つ農業のイメージや、担い手としての可能性を把握する。	市内中学校 中学二年生 （約 750 名）	令和 2 年 10 月～11 月頃	校内での直接配布、回収

## 1. 市民アンケート調査

### 1-1. 調査目的

栗東市民を対象として、市民（消費者）の農業とのかかわりや栗東市の農業に対するイメージ、都市と農村の交流のあり方など、暮らしを取り巻く農業の現状及び意向等を把握し、市民とともにある栗東市農業のあり方、農業が目指すべき将来像及び施策の方向性等の検討資料とします。

### 1-2. 調査概要

項目	概要（案）
名称	栗東市の農業に関する市民アンケート調査
調査対象	・令和2年9月1日現在 16歳以上の栗東市在住の市民2,000名（無作為抽出）
調査項目	●回答者の属性 ●農産物の購入状況 ●栗東市の農業について ●栗東市の農業の振興について ●栗東市の農業に関するご意見（自由記述）
配布、回収方法	・郵送による配布：2,000通 ・返信用封筒による郵送回収
調査日（予定）	【配布】令和2年10月8日（木）発送 【回収】令和2年10月30日（金）投函締切
送付物	・発送用封筒（角2封筒（宛名ラベル貼付）） ・アンケート調査票（A4冊子 7ページ） ・調査協力のお願い：1ページ ・調査票：6ページ ・返信用封筒（長3封筒）
回収目標数	・回収目標数（有効回収数）：800票（回収率40%）

## ※調査対象（配布数）の設定について

配布数は母数や分析手法に応じて適切に設定します。一般的には調査結果の誤差等との関係に基づく算定式より、目標誤差5%の場合、必要サンプル数は約384票となることから、必要かつ十分な量を確保すべく、この倍の数となる800票を目標回収数（回収率40%として配布数2000票）と設定します。

### アンケート配布部数検討

#### 1. 調査対象者（母集団）

栗東市住民（16歳以上）

#### 2. 母集団（人口）

住民基本台帳人口（16歳以上）N = 58,000 人 ※令和2年8月31日現在57,970人  
出典：栗東市人口データ

#### 3. サンプル数の設定

項目	採用値	内容
信頼度(%)	95	一般的に国などが行っている標本調査は、信頼度95%（λ=1.96）として調査の設計がされている。
信頼水準λ	1.96	正しく判断できる確率（信頼度95%の時の正規分布表による）
回答比率P	0.5	設問に対する賛成率。通常0.5で設定（必要な調査対象者数が最大となる値）
絶対精度d	0.05	0.03~0.05（3~5%）が目安。国などの調査では、誤差±5%以内と設定する場が多い

$$\text{サンプル数}n \geq \frac{N}{(d/\lambda)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1} = 384$$

これより最低限必要なサンプル数は、約 **400** となります。

サンプル数の必要かつ十分な量を確保することとして、上記の倍の数となる **800** を目標サンプル数と設定します。

#### 4. 配布部数の設定

過去の栗東市における市民アンケート回収率（H27総合戦略41.0%、H28総計41.9%）実績を鑑み

項目	採用値
回収率(%)	40

を設定

$$\text{配布部数} = 800 / (40/100) = 2,000 \text{ 部と設定します。}$$

### 1-3. 市民アンケート 設問構成 (案)

項目	設問		分析内容・備考	
回答者の属性	問 1	居住地域	回答者の属性区分と各設問のクロス分析を実施することで、属性ごとの特性を把握する。 ※想定する属性区分 地域：4区分[金勝・葉山・治田・大宝] 年齢：3区分[~40歳代・50~60歳代・70歳代以上]	
	問 2	年齢		
	問 3	就業状況 農業者か否か 職業		
農産物の購入状況	問 4	主な購入場所 米 野菜・果物	消費者として、農産物の購入場所や購入の際に重視していることを把握する。	
	問 5	購入の際、重視すること		
	問 6	地元農産物の購入状況	購入頻度	地元農産物の購入状況を把握する。特に、消費者の考える地元農産物の良さや魅力を明らかとし、地産地消の取り組みのあり方等の検討材料とする。
			具体の購入場所	
			購入する理由	
購入しない理由				
問 7	栗東市の特産品の認知度	栗東市の特産品についての認知度及び利用度を明らかとし、農産物・農産加工品のブランド化等の取り組みのあり方等の検討材料とする。		
栗東市の農業について	問 8	栗東市の農業のイメージ	市民の理解、協力のもと農業振興を図るにあたり、市民が、栗東市の農業に対して現状どのようなイメージ(肯定的/否定的)を持っているかを把握し、将来の農業のあり方等の検討材料とする。また、都市と農業の共存や、まちづくりへの影響の観点から、都市農業に対する市民の意向を把握する。(問9と連動)	
	問 9	まちなか(市街地及び周辺)農地	まちなかに農地があることのメリット	都市の暮らしの身近にある農地は、その多様な機能が発揮されることで、農地及び農業者(生産者)と居住者(消費者)が共存する環境共生型の社会形成に寄与する。 栗東市の農業の特性である「都市近郊型の農業」をふまえ、まちなか(市街地及び周辺)に農地があることのメリット/デメリットを市民視点からどのように捉えているかを把握するとともに、農地の必要性に対する意向を把握することで、都市農業のあり方等の検討材料とする。
			まちなかに農地があることのデメリット	
			まちなか農地の必要性	
問 10	中山間地域の農業・農地について	市の南部に位置する中山間地域における農業・農地の保全に対する意向を把握することで、中山間地域の農業のあり方等の検討材料とする。		
栗東市の農業の振興について	問 11	栗東市の農業振興に向けた取り組み	市民(消費者)の視点から、栗東市農業に求められる取り組み等についての意向を把握し、市民の理解、協力のもと取り組む農業振興施策等の検討材料とする。	
	問 12	市民として取り組みたいこと	市民が日々の暮らしの中で取り組みたいことを把握することで、市民との連携、協力のもと推進する農業振興施策等の検討材料とする。	
	問 13	都市と農村の交流	市民として、どのような機会があると自ら農業や農村に関わりたいと思うのか把握することで、都市と農村の交流施策等の検討材料とする。	
栗東市の農業に関するご意見	—	自由記述	設問にとらわれず、栗東市の農業振興等に関する様々なアイデアや意見を市民から頂くためのコメント欄(自由記述)	

## 2. 農業従事者（農家等）アンケート

### 2-1. 調査目的

栗東市の農業従事者を対象として、生産者の立場からみた市内農業の現状及び課題、農業の維持、振興のために今後必要な施策等に関する意向等を把握し、栗東市農業が目指すべき将来像及び有効かつ実効性の高い施策等の検討資料とします。

また合わせて、調査成果は農業振興地域整備計画 基礎資料としても反映を図ります。

### 2-2. 調査概要

項目	概要（案）
名称	栗東市の農業に関する農業従事者アンケート調査票
調査対象	・令和2年9月1日現在 栗東市内に農地を保有する農業経営者等（世帯主）約1,000名 ※悉皆調査
調査項目	●回答者の属性 ●農業経営の現状について ●農地等の現状について ●今後の農業経営について ●栗東市の農業の振興について ●市民と農業の交流等について ●栗東市の農業に関するご意見（自由記述）
配布、回収方法	・郵送による配布：約1,000通 ・返信用封筒による郵送回収
調査日（予定）	【配布】令和2年10月8日（木）発送 【回収】令和2年10月30日（金）投函締切
送付物	・発送用封筒（角2封筒（宛名ラベル貼付）） ・アンケート調査票（A4冊子 8ページ） ・調査協力のお願い：1ページ ・調査票：7ページ ・返信用封筒（長3封筒）
回収目標数	・回収目標数（有効回収数）：500票（回収率50%）

### 2-3. 農業従事者アンケート 設問構成 (案)

■ : 農業振興地域整備計画[基礎調査]資料に反映

項目	設問			分析内容・備考
回答者の属性に関する項目	問 1	属性	居住地域	回答者の属性区分と各設問のクロス分析を実施することで、属性ごとの特性を把握する。 ※想定する属性区分 地域：4区分[金勝・葉山・治田・大宝] 年齢：3区分[～40歳代・50～60歳代・70歳代以上]
			性別	
			年齢	
農業経営の現状について	問 2	専業／兼業農家の区分		市内農業従事者の経営形態を把握する。 また、回答者の属性区分と各設問のクロス分析を検討し、属性ごとの特性を把握する。
	問 3	農業以外の仕事の状況	勤務地	兼業農家の他産業への就業状況を知るとともに、栗東市の農業労働力を把握する。農振整備計画基礎調査掲載表の根拠データとする。
			勤務形態	
			業種	
	問 4	主な生産品目		市内農業従事者が生産している主な農作物及びその出荷先からみた、市内農業の特性を把握する。
問 5	主な出荷先			
農地等の現状について	問 6	耕作している農地(経営耕地)面積	自作耕地(a)	耕作地の現状を把握する。 農地に占める貸付地／借入地の割合より、市内の農地流動化状況を把握する。
			貸付耕地(a)	
			借入耕地(a)	
	問 7	遊休農地の有無		遊休農地（現在耕作されていない農地と定義）の有無の把握（問 8 に続く）
	問 8	遊休農地の状況	遊休農地の面積(a)及び増減	遊休農地の面積、及び10年前からの増減より、市内における遊休農地の動向を把握する。 耕作しない（できない）要因及び今後についての所有者の意向から、市内における耕作放棄地の特性を把握し、遊休農地対策等の検討材料とする。
			遊休農地の理由	
			遊休農地の今後の活用について	
	問 9	農業生産基盤の改善点		地域の農業生産基盤や施設等について改善、整備が必要な項目を把握し、地域の農業の保全・強化のための施策等の検討材料とする。
	問 10	必要な施設・機械		
	今後の農業経営について	問 11	後継者の有無	
問 12		後継者の状況	後継者の年齢	後継者についての現状を把握し、今後の栗東市農業を支える担い手対策等の検討材料とする。
			後継の時期	
問 13		今後の経営規模の意向		今後（約10年後）の経営耕地の規模（拡大／縮小・休廃業）の意向把握（問 14、15 に続く） また、回答者の属性区分と各設問のクロス分析を検討し、属性ごとの特性を把握する。
問 14		拡大意向	拡大面積(a)	拡大意向がある農業従事者に対して、拡大希望面積やその理由、確保の方法を把握することで、意欲のある農家への支援策等の検討材料とする。
			拡大したい理由	
	農地確保の方法			
問 15	縮小意向	縮小面積(a)	縮小意向がある農業従事者に対して、縮小希望面積やその、農地の移転先等を把握することで、縮小意向のある農家へ支援策や農地の活用策等の検討材料とする。	
		縮小したい理由		
		農地の移転先等		

(つづき)

項目	設問		分析内容・備考
栗東市の農業の振興について	問 16	地域(集落)の今後	地域の今後(10年後)について、地域に居住する回答者自身がどのように捉えているかを把握し、持続可能な地域、農業経営のあり方等の検討材料とする。
	問 17	取り組むべき農業振興施策	今後の栗東市農業の振興に向けて、どのような施策に重点的に取り組むべきかの意向を把握し、今後の農業振興施策等の検討材料とする。
	問 18	担い手の確保・育成に向けた取り組み	今後の栗東市農業の維持・強化において重要な要素となる担い手の確保・育成に向けて、重点的に取り組むべき施策についての意向を把握し、今後の担い手の確保・育成策等の検討材料とする。
	問 19	農地の整備の将来の方向性	地域や周辺における農地の整備の将来の方向性(保全/宅地化等)の意向を把握し、今後の農地(特に市街地周辺)保全策等の検討材料とする。
市民と農業の交流等について	問 20	市民と農業の交流機会への参加意向	市民と農業の交流の機会(市民農園・農業体験等)への参加意向を把握し、今後の都市＝農村交流策等の検討材料とする。
	問 21	市民農園の貸出し意向	
	問 22	地産地消の取り組み	地産地消の取り組み状況 地産地消を進めるにあたっての課題等
栗東市の農業に関するご意見	—	自由記述	設問にとらわれず、栗東市の農業振興等に関する様々なアイデアや意見を農業従事者から頂くためのコメント欄(自由記述)

### 3. 事業者ヒアリング調査

#### 3-1. 調査目的

栗東市農業の流通・販売・加工等に関わる事業者の立場からみた農業の維持、振興のために今後必要な施策等に関する意向、関係者間の連携可能性等を把握し、栗東市農業が目指すべき将来像及び関係者間の連携等を通じた有効かつ実効性の高い施策等の検討資料とします。

#### 3-2. 調査対象及び質問内容

区分	事業者（想定）	質問（案）
流通・販売等	・ J A 栗東市	<b>①概要、特徴的な取組等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業概要</li> <li>・ 農業振興に係る既往計画（農業振興計画等）、事業等</li> </ul> <b>②課題等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流通・販売に係る課題</li> <li>・ 流通・販売事業者の立場からみた栗東市農業の課題</li> </ul> <b>③今後の展望等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栗東市の農業振興のあり方について（地域連携の取組など）</li> <li>・ 今後の展望等について（事業者として取組みたい事項、関係者との連携、市への要望など）</li> </ul>
直売所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅アグリ郷栗東</li> <li>・ 道の駅こんぜの里りっとう</li> <li>・ 田舎の元気や（J A 栗東市）</li> </ul>	<b>①概要、特徴的な取組等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設概要（設置時期、運営形態、従業員数等）</li> <li>・ 利用状況（利用者数、居住地、交通手段等）</li> <li>・ 地元農産物等の取扱状況（アイテム数、売上、評価等）</li> </ul> <b>②課題等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元農産物等の販売促進に向けた課題等</li> </ul> <b>③今後の展望等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の展望等について（事業者として取組みたい事項、関係者との連携、市への要望など）</li> </ul>
飲食・加工等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元農産物等を利用している市内飲食店</li> <li>・ 学校給食共同調理場等</li> </ul>	<b>①概要、特徴的な取組等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元農産物等の利用の状況、評価</li> </ul> <b>②課題等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元農産物等の利用促進に向けた課題等</li> </ul> <b>③今後の展望等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の展望等について（事業者として取組みたい事項、関係者との連携、市への要望など）</li> </ul>

## 4. 中学生アンケート調査

### 4-1. 調査目的

栗東市内中学校に通う学生を対象として、次世代が持つ農業のイメージや農業との関わり方に関する意向等を把握し、次代の担い手としての可能性等をふまえた将来像及び施策の方向性等の検討資料とします。

### 4-2. 調査概要

項目	概要（案）
名称	『栗東市の未来の農業を考える』中学生アンケート調査
調査対象	・市内中学校 在学中の中学二年生（約 750 名）
調査項目	●回答者と農業の関わり方について ●栗東市の農業について
配布、回収方法	・校内での直接配布、回収
調査日（予定）	【配布、回収】令和2年10月～11月頃
配布物	・アンケート調査票（A4 2ページ）
回収目標数	・回収目標数（有効回収数）：750票（回収率100%）

### 4-3. 中学生アンケート 設問構成（案）

項目	設問		分析内容・備考	
農業の関わり方について	問1	家族に農業従事者がいるか	回答者と農業との関わりを把握する。回答者のうちどれくらいの割合が農に触れる機会をもっているか。	
	問2	農作業をしたことがあるか		
栗東市の農業について	問3	農業に対する興味	回答者が農業をどのように捉えているか、良いイメージ／良くないイメージを交えて把握し、長期的な視点からの担い手対策等の検討材料とする。	
	問4	農業という仕事のイメージ		
	問5	将来農業の仕事に就きたいか	農業の担い手としての現時点の意向を把握する。（問6、7に続く）	
	問6	農業の仕事に就きたい	就きたい理由	農業という仕事の魅力や動機を把握し、長期的な視点からの担い手対策等の検討材料とする。
			作りたい作物等	
問7	農業の仕事に就きたくない	将来の農業との関わり方	直接的に農業の仕事に関わらなくても、消費者や事業者としての立場から担い手となる可能性等を把握し、将来の農業のあり方等の検討材料とする。	